

つくろう、未来を。
つくろう、素材で。

2026年4月8日
愛知製鋼株式会社

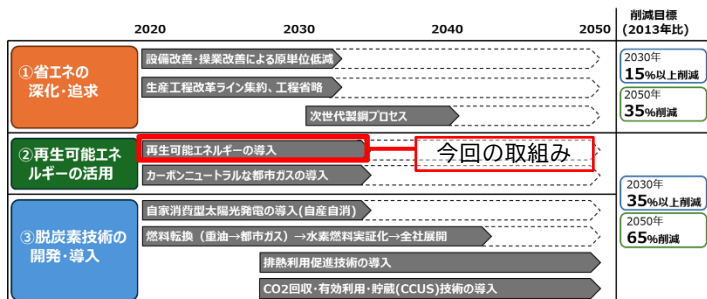
オフサイト型バーチャル PPA を活用した再生可能エネルギー活用の拡大 ～当社電力消費量の約20%を非化石電力由来とする取り組み～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、HSE 株式会社（取締役社長：石田桂）が提供するオフサイト型バーチャル PPA サービス※を通じ、陸上風力発電によって創出される非化石電力由来の環境価値の活用を開始しました。本件と2025年7月より活用している再生電力（バイオマス発電）と合わせることで、2026年4月時点で当社電力消費量の約20%を非化石電力由来とする構成となり、年間約80,000トンのCO₂削減に貢献する見込みです。

当社は、2030年ビジョンの経営指針の一つとして「持続可能な地球環境への貢献」を掲げ、2050年度までのカーボンニュートラル（以下、CN）早期実現を目標に取り組んでいます。具体的には、「省エネの深化・追求」「再生可能エネルギーの活用」「脱炭素技術の開発・導入」を軸としたロードマップに基づき、計画的に施策を進めています。本件は、「再生可能エネルギーの活用」に位置づけられるものであり、電力構成のバランスも考慮しつつ、非化石電力比率を着実に高めるための取り組みの一環です。

今後も当社は、「環境に一番やさしい鉄屋」として、自社での省エネ・CO₂削減努力を基本としながら、再生可能エネルギーへの転換を進め、CO₂削減およびCN実現に向けた取り組みを一層加速していきます。

※ 敷地外に設置した再生電源で発電された電気由来の環境価値（CO₂排出量ゼロであることを示すことができる価値）のみを提供するサービス



カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ



HSE 写真提供: 十三湖風力発電所(青森県)